



配架のパターン

低温科学研究所助教授 小野 延雄

7年前の夏、当時国際雪氷学会の会長をしていた W. F. Weeks 博士が、低温研に3か月ほど滞在されていたときのことである。ある暑い日、低温研の図書室はどれも使いにくい、どうして国際十進分類(UDC)を使って並べないのかと尋ねられた。

低温研図書室の配架のしかたは、20年以上も前に定めた低温研独自の分類に基づいている。附属図書館のように各方面の本をまんべんなくそろえるわけではなく、自然科学の中でも限られた分野の本を中心に集める研究所の図書室としては、本の並べ方にも独自のくふうが必要であった。低温科学関係の本を1箇所に集めて、雪、氷河、海氷、凍土、低温生物学など、それぞれのテーマごとに分類して配架している。

UDCでは、これらのテーマは6けたの数字を使わないと表現できない細分項目である。しかも、UDCをこのような項目の図書分類に使用しようとすると、少しぐあいの悪いことが起こる。そのわけを、私は Weeks 博士との共通のテーマである海氷を例にとって説明した。UDCでは海氷に551.467の標数を付け、海洋物理学(551.46)に含めている。ところが海氷をその動きで大別した流水と定着氷は、雪氷学(551.32)に入れられてそれぞれ551.326と551.328が付けられ、さらに、流水や定着氷による災害の予防・抑制・監視には、雪氷工学(624.14)の中で標数が割り当てられている。これらの全般に言及する海氷の本は、どの標数を付けたらよいか判断に苦しむし、統一を欠くおそれもある。それよりも‘海氷’の一箇所に集めたほうがはるかに利用しやすい。こんな内容の説明をしたが、納得してもらえた顔ではなかった。いくつかのキーワードを示すことのできる文献検索の資料と違って、開架書庫での本の並べ方は、多岐にわたる内容の本を書棚という数直線上の一点にはめ込む作業であるから、方法の功拙や主観の相違がはいるのは避けられないのかも知れない。

あれからの数年の間に、札幌にも大型書店の数がふえ、新本、古本の本屋巡りが一日では回りきれないほどになった。新しく開店した書店にはいると、戸惑いながらも書棚の間をひととおり眺め歩いてみる。各店に共通するような配架の統一性(分類)は見いだせなくても、書店ごとには配架の方針といったものが感じられる。そしてそれをつかんでしまうと、二度目からは、ああこの店はこうだったなと目ざす書棚に直行できるようになる。新刊書コーナーはひんぱんに模様替えが行なわれ、その店の個性が現われていて楽しいが、私がよく見回る書棚のあたりは雑居的に並べられていて、店ごとにその扱いがまちまちなのが愉快である。こう書きな

がら、各店の配架の様子が思い出せるのは、配架の特徴がパターンとして記憶されてしまうせいであろうか。

Weeks 博士には、漢字で書かれた図書分類板や和書の背文字は意味不明のノイズでしかないだろうから、それらを含んだ洋書の配列からは図書室の配架のパターンがつかみきれなかったのかも知れない。私には慣れてしまった書架の間を通過して、Weeks 博士が使いにくいと感じた原因が、案外そんなところにあったのではないかと考えるようになった。あの年に比べると今年の夏は涼しく、暑い日がないままに秋を迎えようとしている。

◆ 会 議

第100回 図書館委員会

<と き 昭和55年5月24日(土)>
<と ころ 附属図書館会議室>

議 題

1. 昭和54年度決算報告について
2. 昭和55年度予算(案)について
3. 外国雑誌購入(文部省配当購入費)について
4. 閲覧個室(第一種, 第二種)について
5. 昭和55年図書資料(大型コレクション)の収書計画について
6. そ の 他

第101回 図書館委員会

<と き 昭和55年6月24日(火)>
<と ころ 附属図書館会議室>

1. 昭和55年度予算配当(案)について
2. 閲覧個室(第二種)について
3. そ の 他

第65回 教養分館委員会

<と き 昭和55年6月5日(木)>
<と ころ 教養分館長室>

1. 昭和54年度決算並びに昭和55年度予算(案)について
2. 昭和55年度教官指定図書の選定について
3. 昭和55年度前期演習室の利用について
4. そ の 他

第66回 教養分館委員会

<と き 昭和55年7月10日(木)>
<と ころ 教養分館長室>

1. 昭和55年度図書費予算(案)について
2. 昭和55年度参考図書の選定について
3. そ の 他

全学図書(担当) 掛長会議

<と き 昭和55年4月30日(水)>
<と ころ 附属図書館会議室>

1. 第12回北海道地区国立大学図書館協議会について
2. 北海道大学事務電算化希望事項(図書系)について
3. そ の 他

全学図書(担当)掛長会議

<とき 昭和55年6月4日(水)>

<ところ 附属図書館会議室>

議 題

1. 昭和55年度会計実地検査について
2. その他

全学図書(担当)掛長会議

<とき 昭和55年6月27日(金)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 昭和55年度会計実地検査の受検事項について
2. その他

第27回 国立大学図書館協議会総会

標記総会は、6月25日(水)から28日(金)までの3日間にわたり東北大学において開催された。

参加校は本学はじめ92大学、オブザーバーとして国文学研究資料館が参加した。

参加者は、館長、事務部長、課長、事務長等約210名、さらに文部省より田保橋情報図書館課長、田中専門員、糸金大学図書館係長が出席された。

会議は第1日目：準備理事会、第2日目：開会式、諸報告、協議、研究集会、第3日目：分科会、全体会議、閉会式の順で行われた。

以下主な項目として

I. 各地区協議会報告

各地区連絡館より、地区協議会の活動状況について報告があった。

II. 調査研究班報告

「図書館相互協力」調査研究班主査より報告があり、報告書をもって任務を終了することになった。

III. 昭和55年度国立大学図書館協議会賞受賞者表彰式

理事会において下記のとおり受賞が決定した旨報告があり、表彰された。

- 1) 応募区分 「図書館活動における功績」
- 2) 受賞者 鳥取大学附属図書館医学部分館 中川 克哉
- 3) 件名 「医学図書館のための参考図書資料」

IV. 研究集会

「全国的規模で展開する学術情報システムに、各大学内の図書館体制を如何に整合し、協力させ得るか」をテーマとして、岡山大学附属図書館事務部長 本郷太郎「学術雑誌の学内集中管理」、大阪大学附属図書館事務部長 東米吉「外国雑誌拠点図書館の運営」、九州大学附属図書館事務部長 沙藤隆茂「コンピューターの地域共同利用」、長岡技術科学大学附属図書館図書課長 及川三千男「図書館新営計画と学術情報システム」について各氏から報告があり、それにもとづいて活発な討論が行われた。

V. 分科会

第1分科会(運営・サービス)

協議事項および要望事項 1. 学術審議会答申に対する大学図書館の対応と要望について、2. 「学術情報センター」の設置を促進すること、3. 図書館相互利用実行委員会の設置について、4. 図書館建築必要面積算定基準の改訂の促進について、5. 外国雑誌購入契約について国

立大学の全国的レベルでの標準的方式を設定することの可能性の検討について、6. 図書館における情報検索用端末装置の計画的配置とその要員の研修について

第2分科会 (予算)

協議事項および要望事項 1. 図書館維持費の増額について、2. 文部省配分図書館経費の増額について、3. 夜間開館実施に伴う維持費の増額について、4. 図書購入費の増額について、5. 「特別図書購入費」をさらに増額すること、6. 大型二次資料購入予算の新設について、7. 参考図書購入費の増額について、8. 新設大学並びに学部増設に係る基幹図書の整備充実について、9. 図書館職員の研修旅費の増額について、10. 研修会、講習会出席旅費の増額について

第3分科会 (人事)

協議事項および要望事項 1. 相互協力業務担当職員の増員について、2. 情報活動推進に伴う定員増について、3. 図書館職員の定員増について、4. 図書館職員の4等級昇格について、5. 図書館職員の4等級定数枠の拡大について、6. 図書館職員の定員削減について、7. 事務部長、課長、事務長の管理職手当の増額を図ることについて

以上の各地区提出議題について、活発な討議が行われた。

VI. 全体会議

上記分科会において提案・討議されたまとめについて、各分科会主査から報告があり、討議の結果、採択事項を関係方面へ要望することとなった。

VII. その他

次回の総会は、九州地区 (琉球大学) で開催することが決定した。

◆ 学内図書館だより

ルーマニア政府よりの図書寄贈について

去る7月25日 Radu Ioan Bogdan 駐日ルーマニア社会主義共和国大使が本学学長を表敬訪問された際、CEAUSDESCU NICOLAE: The development and modernization of the techomaterial basis of socialism in Romania. ほか355冊の図書が寄贈された。この図書は、同国の文学・哲学・工学・芸術など広範囲にわたるもので、その展示が7月24日から26日までの3日間、附属図書館資料展示室において行われた。

なお、このルーマニア政府寄贈図書は、昭和39年にも172冊が寄贈され、「ルーマニア文庫」として研究者等の利用に供されている。今回の寄贈図書を加え総数528冊となり、その利用は今後益々さかんになることであろう。

ここに、ルーマニア政府に対し、深く感謝の意を表する次第である。



◆ 統 計

部 局 別 蔵 書 冊 数

(昭和 55 年 3 月 31 日現在)

区 分 部 局	和 書	洋 書	合 計	備 考
附 属 図 書 館	445,492	249,548	695,040	教養分館及び法学部を含む
教 養 分 館	(67,578)	(8,509)	(76,087)	
文 学 部	56,300	85,546	141,846	
教 育 学 部	39,994	18,992	58,986	
法 学 部	(42,990)	(74,836)	(117,826)	
経 济 学 部	34,871	26,517	61,388	
理 学 部	41,145	109,573	150,718	
医 学 部	54,765	66,766	121,531	附属病院を含む
歯 学 部	8,471	8,313	16,784	〃
薬 学 部	3,405	9,223	12,628	
工 学 部	142,028	111,952	253,980	
農 学 部	151,791	91,311	243,102	附属農場，附属演習林を含む
獣 医 学 部	8,131	15,614	23,745	
水 産 学 部	58,792	34,397	93,189	
教 養 部	25,185	11,198	36,383	
大学院環境科学研究科	2,743	813	3,556	
低温科学研究所	5,007	10,937	15,944	
応用電気研究所	4,099	10,213	14,312	
触媒研究所	2,588	7,535	10,123	
免疫科学研究所	1,227	4,794	6,021	
事 務 局	1,800	144	1,944	
学 生 部	602	97	699	
スラブ研究センター	166	1,953	2,119	
大型計算機センター	572	514	1,086	
合 計	1,089,174	875,950	1,965,124	

昭和54年度 部局別図書・雑誌受入冊数

区 分 部 局	図 書							雑 誌						
	和 書			洋 書			計	和 書			洋 書			計
	購入	寄贈 交換	製本 移管	購入	寄贈 交換	製本 移管		購入	寄贈 交換	その他	購入	寄贈 交換	その他	
附属図書館 ¹⁾	8,553	3,105	83	9,039	1,306	3,105	25,191	431	1,725		450	483		種類 3,089
教養分館	(2,904)	(55)	(51)	(217)	(22)	(30)	(3,279)	(180)	(11)		(50)	(1)		(242)
文学部	4,698	117	86	6,042	89	491	11,523	57	791		396	47		1,291
教育学部	2,220	68	395	640	1	141	3,465	215	471		181	2		869
法学部	(1,165)	(267)		(2,931)	(107)		(4,470)	(324)	(354)		(670)	(32)		(1,380)
経済学部	2,015	472	517	1,653	38	516	5,211	161	726		199	65		1,151
理学部	919	32	243	1,299	44	2,108	4,645	144	244	7	844	249	5	1,493
医学部 ²⁾	2,350	35	639	635	30	1,508	5,197	325	442		785	68		1,620
歯学部 ³⁾	448	1	121	280	1	500	1,351	105	102		209	27		443
薬学部	91	23	31	47	11	555	758	21	22		91	2		136
工学部	3,729	250	935	1,547	20	1,671	8,152	311	610		779	47		1,747
農学部 ⁴⁾	3,388	48	253	864	4	585	5,142	275	686	2	488	170	2	1,623
獣医学部	146	8	120	170		294	738	32	185		148	180		545
水産学部	1,062	21	428	272	4	939	2,726	349	902		270	285	4	1,810
教養部	55	1,956		40			2,051	25	268		80			373
大学院環境科学研究科	813	5	34	181	37	175	1,245	24	30		109	10		173
低温科学研究所	64	22	142	71	20	364	683	31	227		93	211		562
応用電気研究所	144		5	198		421	768	39	185	1	116	69	1	411
触媒研究所	65		39	106		236	446	15	72		50	36		173
免疫科学研究所	37		7	61		227	332	14	115		54	1		184
事務局	15						15	53			1			54
学生部														
スランプ研究センター	16	6		137			159	7	133	1	111	46		298
大型計算機センター	41			36			77	14			32			46
合計	30,869	6,169	4,078	23,318	1,605	13,836	79,875	2,648	7,936	11	5,486	1,998	12	18,091

- 備考 1) 教養分館及び法学部を含む。
 2) 附属病院含む。
 3) 附属病院含む。
 4) 附属農場, 附属演習林含む。

昭和 54 年度 附属図書館利用統計

閲覧室名 開館日数 利用部局等	一般閲覧室		開架図書室		語学 演習室	参 考 図 書 室	北 方 資 料 室	合 計
	館内閲覧	館外貸出	館内閲覧	館外貸出				
	290日	290日	276日	276日	276日	290日	290日	
文学部	449人	1,149人	(入室者統計なし)	2,939人	304人	988人	378人	
教育学部	133	170		679	56	108	30	
法学部	912	2,369		6,078	684	595	81	
経済学部	164	386		1,775	319	173	46	
理学部	61	41		2,980	74	146	24	
医学部	8	5		307	12	25	3	
歯学部	2	1		259	10	8		
薬学部	3	4		545	2	7		
工学部	56	27		1,169	78	80	68	
農学部	47	55		1,108	76	60	122	
獣医学部	3			51	14	4	2	
水産学部	1			177		9		
教養部	242	302		4,516	145	240	92	
各種学校	19	3		302		49	204	
各研究所						62	54	
教 官	147	2,423		352	28	—	—	
院 生	167	2,960		997	448	—	—	
職 員	114	225		907	196	—	—	
学 外 者	367	438		50	—	114	390	
利用者合計	2,895 ¹⁾	10,558	—	25,191	2,446	2,668	1,494	45,252
利用冊数	6,975	24,313	13,277	32,399	2,755巻	222 ²⁾	1,314 ³⁾	78,500冊 2,755巻

- 注) 1) 図書の貸出しをうけた人数 (座席だけの利用者は含まず)
 2) 図書館学資料の館外貸出のみ。(参考図書は禁帯出)
 3) 館外貸出冊数 (室内利用は含まず)
 4) 参考図書室及び北方資料室については、職員・学生こみの人数

昭和 54 年度 附属図書館マイクロ電子・複写業務実績 (館内分を除く)

複写数 申込者	件数 ^{注)} (件)	複写論文 点数 (点)	処 理 枚 数 ・ コ マ 数						
			総 数	内				引伸焼付 (枚)	リ ー ダ ー プ リ ン タ ー (枚)
				電子複写 (枚)	マイクロ フィルム (コマ)	マイク ロフイ ッシュ (枚)			
学 内 者	904	1,561	31,791	14,227	865	79	1,796	14,824	
学 外 者	3,688	4,938	64,803	61,534	1,156		10	2,103	
合 計	4,592	6,499	96,594	75,761	2,021	79	1,806	16,927	

注) 件数は申込延人数と同じ。(複写不能分は含まず)

昭和54年度 学外への文献複写申込件数

(参考掛經由の分)

部 局	文 学	教 育	法 学	経 济	理	医	歯	薬	工	農
件 数	407	59	341	11	52	—	16	2	94	205
部 局	獣 医	水 産	低 温	応 電	触 媒	免 疫	教 養	附 属 図 書 館	環 境	合 計
件 数	5	20	52	61	18	11	4	21	38	1,417

ほかに国外申込件数 418件 (アメリカ 295, イギリス 42, カナダ 17, 西独 14, フランス 13, 東独 7, オランダ 7, ソ連 6, その他 17)

昭和54年度 図書館相互貸借

(参考掛經由の分)

他館への貸出 149件
 他館よりの借用 114件 (国外より4件)

昭和54年度 教養分館利用統計

(開館日数 290日)

利用部局等	開 架 図 書 室		語 学 演 習 室		ビ デ オ 視 聴 室		
	館内閲覧	管 外 貸 出					
文 学 部		1,636冊	1,088人	5巻	5人	7巻	6人
教 育 学 部		190	116	1	1		
法 学 部		1,016	655	24	18	12	10
経 济 学 部		646	364	5	5	23	19
理 学 部		2,421	1,645	51	50	48	36
医 学 部		382	265	106	99	81	62
歯 学 部		137	77	14	10	2	2
薬 学 部		351	217	10	8	8	7
工 学 部		2,386	1,592	63	59	91	85
農 学 部		597	365	3	3	3	3
獣 医 学 部		194	123	3	3	10	8
水 産 学 部		4	3				
教 養 部		50,484	34,716	1,120	1,061	2,748	2,344
各 種 学 校		1,439	861	3	3	15	12
教 官		465	279	13	13	20	16
院 生		335	200	16	16	13	12
職 員		1,435	961	1	1	10	9
学 外 者		11	11	1	1		
合 計	28,501	64,129	43,538	1,439	1,356	3,091	2,631

注) 館内閲覧者数は、入室者数カウンター器表示実数による。

昭和 54 年度 教養分館分類別館外貸出統計

類 別	0	1	2	3	4	5	6
冊 数	961	4,098	365	7,173	823	22,965	2,078
類 別	7	8	9	文庫・新書	雑 誌	※学部生への 教官指定図書	合 計
冊 数	1,894	9,612	5,545	7,782	99	734	64,129

※ 学部生への教官指定図書は 4~6 月のみ。7 月以降は各分類別を含む。

◆ 研 修

第 23 回 (昭和 55 年度) 北海道地区大学図書館職員研究集会

<と き 昭和 55 年 8 月 6 日 (水)>

<と ころ 東 日 本 学 園 大 学>

標記研究集会は、当地区 20 大学約 110 名が参加して開催された。

研究集会は、札医大 亀谷修一、北薬大 日高八州夫両氏の司会のもとに、研究発表として
1. 道内異種図書館間の相互協力について；藤女子大 鈴木高明、2. 「図書館サービスについて
の意識調査」について；北星大 近藤命・平野敦子、3. 洋雑誌の電算機処理におけるソフトウ
ェアの協同利用について；北見工大 高橋正幸各氏の発表が行われ、次いで、アンケート調査研
究報告及び討議「道地区大学図書館の現状と課題」が、北教大 荒川真澄氏の司会で、次のとお
り各氏から報告が行われた。

○結果の概要	北 大 若 月 修
	北学園大 川 崎 実
○大学図書館における選書の実情	酪農大 浦 川 利 幸
○目録作成の現状と省力化	札 商 大 坂 井 敏 子
○装備について	札 大 佐 々 木 優

以上について、活発な討議及び質疑応答が交され、有意義かつ、盛会裡に終了した。

なお、本研究集会が当番館東日本学園大学の関係者各位並びに研究集会企画委員各位の熱
意・協力のもとに予定どおり終了したことを感謝するものである。

(北海道地区大学図書館協議会幹事館)
北海道大学附属図書館

◇ 人事往来 ◇

新図書館委員

磯部俊郎(工学部教授) 55. 6. 1

採用

谷津まさ子 整理課教養分館閲覧掛 55. 4. 7

堀美樹子 整理課教養分館整理掛 55. 5. 1

横川知代子 整理課受入掛 55. 5. 26

田村奈緒子 整理課教養分館閲覧掛 55. 6. 9

岬林とも子 整理課受入掛 55. 7. 1

配置換

大西澄子 閲覧課第一運用掛(整理課学術情報資料掛) 55. 5. 26

退職

福永須和子(整理課教養分館整理掛) 55. 4. 30

田島郁子(閲覧課第一運用掛) 55. 5. 23

谷津まさ子(整理課教養分館閲覧掛) 55. 5. 31

横川知代子(整理課受入掛) 55. 6. 14

訃 報

本館整理課総務掛文部事務官渡辺悦子氏(享年46歳)は、病氣療養中のところ、5月21日急性心不全のため逝去されました。

ここに慎んで哀悼の意を表します。

同氏は、昭和36年10月医学部に採用され、昭和51年5月農学部附属演習林を経て、昭和54年5月本館整理課に配置換となり、この間主として会計関係業務にたずさわり、献身的に職務に精励されました。

北海道大学附属図書館報 「榆蔭」 (通巻54号)

1980年9月17日発行 発行人 矢部一郎

編集委員 横山梅雄(長)・若月修・遠藤雄作・似鳥正吾・野地俊郎・船木敏美・坪田充弘
遠 昭二・平田忠夫・杉尾勝茂・宇野弘純・山本幾夫・石倉賢一

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北区北8条西5丁目 電話代表 711-2111 (2967)

印刷所 文栄堂印刷所 札幌市中央区北3条東7丁目 電話代表 231-5560-5561